



外国出張報告書

平成27年 9月24日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成27年 8月
3. 出張目的 トウガラシ病害虫総合防除（IPM）研究推進のための研究打合せ及び圃場試験：B

4. 成果の概要

トウガラシのウイルス病を媒介する微小害虫の防除技術を開発するために、土着天敵を定着・増殖させるコンパニオン植物候補を選定することを目指し、これまでのFSおよび昨年度の成果を踏まえて、カンチャナブリ農業研究開発センターで圃場試験を行っている。今回の出張では、本年度雨季作の3回目の圃場調査および研究室内での調査を行った。現地圃場見取り調査においては、アザミウマ類、コナジラミ類ともに発生はわずかであり、マリーゴールド・オクラに天敵ヒメハナカメムシ類が見られた。叩き落とし法によって実験室に持ち帰り検鏡によって採集個体の確認を行ったところ、初めてトウガラシからもヒメハナカメムシの成幼虫が採集され、減農薬と植栽管理によってタイでも保全的生物的防除の確立が可能である見通しが立った。